

社民党

# 渡辺みのる通信

● 第 53 号 ●

発行日/2020年(令和2)10月(9月議会号)

発行/渡辺みのる後援会

石川町大字北山形守引地1

電話&amp;FAX 0247-26-6994

携帯 090-2798-0434



## 写真説明

秋も深まり、道端に咲くガマズミの実が真っ赤に色好き、黄金色の水田に映えています。この地方ではヨッツズミと呼んでいます。スイカズラ科の樹木で、この実は霜が降りる頃、甘くなり食べられるので果実酒として使用され、疲労回復や利尿に効くといわれています。

## 塩田町長、公約の病院誘致を断念すると公表

10月に入ると、大型台風が日本に近づき、昨年の台風19号の水害の記憶がよみがえり、不安が襲ってきます。

復旧も、未だ道半ばですので、避けてくれることを祈っています。

9月定例会は9月3日から15日まで開催しました。一般質問は11名が登壇し、それぞれの議員が施策や町民の声を取り上げ、町長の考えをたどりました。更に、塩田町長が、選挙公約であり、町民の期待も高かった「ひらた中央病院の誘致を断念する」という考えを表明しました。

9月議会は、一般会計をはじめ多くの特別会計の決算を認定する議会で、1年間の事業実績や施策の成果と今後の課題などが議論されました。

また、昭和50年に建築した「老人福祉センター」が昨年の台風で機能不全となり、廃止することになりました。

## 年中行事 うどん食いと渡辺半蔵

大字北山形の大平地区では、毎年12月第1日曜に「うどん食い」という行事が行われています。

現在13戸からの参加で、宿元に夜集まり、飲食を行い、最後にうどんを食べるといいます。

成り立ちは、江戸時代に遡り、この集落に住んでいた資産家であった渡辺半蔵という人が、家運が傾き、一家が行方不明となりました。この土地を村の有志で競売に付し、その金を村金(地蔵金)として希望者に貸し付けていました。

12月はその清算日であり、当番役員が料理とうどんを打って、ごちそうした行事でした。字大平132番地が半蔵屋敷跡であり、虚空蔵堂の境内には渡辺半蔵の墓石(弘化2年)が建てられています。

現在は、うどんを食べる習慣だけが行われ、地域の親睦の場となっています。



秋を代表するリンドウ

◆一般質問から◆

**渡辺：地方債残高が80億円を超える、コロナで脱収減収、事業の選択を  
町長：今の財政は健全、収支バランスを取り対応する**

町は15年前の平成16年に、財政が破綻寸前まで悪化し、新規事業の中止や縮小、職員数の削減、職員の賃金削減などを行い、約10年で健全財政に戻ることができました。しかし、今また地方債(借金)の増加や財政の硬直化など不安が始まっています。その上いくつかの大型事業が予定されています。更に、コロナ感染拡大は経済の悪化、税収の悪化が懸念され、大型事業は、経済状況を見極め、慎重に取り組むべきと考え、町長の財政状況の認識を質しました。

**渡辺** 町財政の現状はどのようになっていますか。

**町長** 経常収支比率は88.2%、元年度末の地方債残高は71億6千万円、財政調整基金は8億8千万円です。しかし、実質公債比率及び将来負担比率は、健全化基準を下回っており、財政は健全であると考えています。

**渡辺** 歳入の国からの地方交付税(町予算の約30%)の普通交付税は今後、どのくらいに見えていますか。

**町長** 22億~23億円くらいで推移するとみています。

**渡辺** 地方債残高(借金)は2年度末でいくらになりますか。

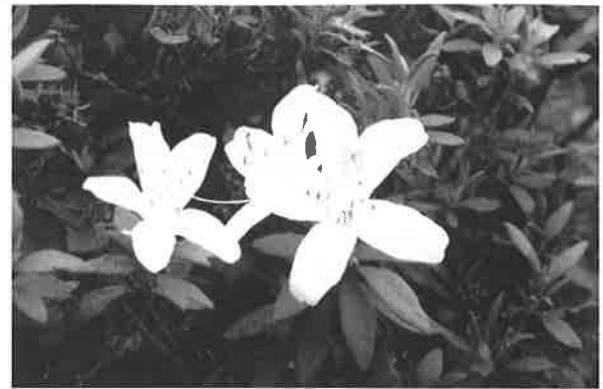
**町長** 80億円になると想定しています。

**渡辺** 財政破綻寸前の平成15年の時でも、地方債残高は79億円であったし、経常収支比率も正常と言われている70~80%を超えて88.2%になっています。

今後、町が計画している大型事業(浄水場改修、道の駅建設、鉱物館建設、認定こども園建設)は優先順位を決めて取り組むべきと考えますが考えは。

**町長** 事業を取り組めば、当然借金が増えます。返済計画を定めて、健全財政を図っていきます。借金にたまがっていたのでは仕事はできない、税収の確保、人件費の削減を進め、収支バランスを取っていきます。

**渡辺** コロナ禍で経済が大変になっています。国も町も税収に大きな影響が出るので、この時期は脇を締めて、町政を行うべきと考えています。



◀10月、庭のつじが咲きました

**塩田町長、公約の病院誘致  
ひらた中央病院との交渉断念を表明**

9月議会の中で、町長は、選挙公約であった「ひらた中央病院との誘致交渉」を断念すると答弁がありました。

今年2月、病院等に関する検討委員会から「報告書」が提出され、町としての方針を決めるとしてきましたが、議員からも再三求められたが、コラまで答弁してきませんでした。

公約とは、何だったのか、町民の期待にどう応えてくれたのか、今後どう答えてくれるのか。課題は残ります。

🌻 子どもたちの未来のために🌻

**菅首相の「自助」でなく  
誰の命も存在も、大切にされる  
社会をめざして**

今年の夏は、35度超えが続く暑い夏でした。でも暦は正直なもので、虫の音とともに秋がやってきました。それに合わせたわけではないでしょうが、8月末、安倍首相が病気を理由に退任、第一次内閣に続いて二度目の任期途中での退任でした。経済を優先し、教育に貢献したものはなかったように思います。それどころか、「付度」という、すこぶる“道徳的でない”ことを広めてしまいました。

以前、小泉首相が「自己責任」を社会にはびこらせました。それによって多くの人が、他者に冷たくなり、格差社会が根付く結果となってしまいました。さらに、公共機関の統廃合や民営化、「保健所はいらない」と統廃合したことが、現在の新型コロナウイルス感染対策に悪影響を及ぼしています。9月に就任したばかりの菅首相も、国民のために働くといいながら、目指す政治としてまず挙げたのは、「自助」でした。自助努力は自己責任に似ています。努力した人にだけ手を差し伸べるような、差別的な社会になりはしないかと心配です。どんな人の命も存在も、平等に大切にされる社会であってほしいと願うばかりです。

(K.H)



ゲンノショウコウの可憐な花

**教育委員に  
瀬谷玲子さんと福田量次さんが任命**

10月から任命される新教育委員に、町長より提案のあった瀬谷玲子さん(大字中田)と福田量次さん(大字湯郷渡)に同意しました。

◆一般質問から◆

**渡辺：働き方改革で、職員の健康管理の考えは  
町長：第一に健康面を考え、安心な職場体制をつくる**

国は平成30年に、労働者の働き方改革の法律をつくり、順次施行させてきました。4月町もこの法律に沿って職員の働き方を定めている「職員の勤務時間、休暇等に関する規則」を改正しました。

その内容と国の目指す働き方改革が職場で実現されることを願って、質問しました。

**渡辺** 改正した規則の概要を伺う。

**町長** 超過勤務の上限を月45時間、年360時間とし、但し、緊急性の高い他律的業務では月100時間、年720時間と規定しました。更に、大規模災害など特例業務は、その上限を超えて命令できます。

**渡辺** 医師による面接はどう生かすのか。

**町長** 時間外が月80時間を超えると、本人の申し出により、100時間を超えると医師による面接を受けることになっています。その結果は、医師及び本人の同意のもと、対応していくことになります。

**渡辺** 特例業務の基準を作るべきでないか。

**町長** 具体的な基準はないところです。

**渡辺** 労働安全衛生委員会の活用、職員の健康管理についての考えを伺う

**町長** 第一に健康面を考えて、安心な職場体制を作っていきます。



淡い紫の花ツリガネニンジン



可愛らしいハキダメギク

**渡辺** PCR検査の充実を

**町長** 心配な方ができるように国・県に要望

**渡辺** ひらた中央病院に石川地方発熱外来センターが開設された。検査の受け方と費用は。

**町長** 風邪のような症状、発熱などがある場合、帰国者・接触者センターもしくはかかりつけ医等に相談し、保健所や医師が判断し、帰国者・接触者外来及び地域外来・発熱外来で検査を受けることができます。費用はかかりません。

症状がない方の自由診療での検査はできますが、2～5万円となるようです。

**渡辺** 人の移動を進めるには、検査が必要です。町長の考えは。

**町長** 必要な方、希望される方も自由に診療できる体制の充実を国、県に要望していきます。

**これで良いのか! コロナでSOS殺到 「命を守る政治」が必要**

東京の感染者が連日200人を超え始めた7月後半ごろから「新型コロナ災害緊急アクション」へのSOSが深刻になり始めた。8月には、立て続けに別な人から「もう4日間、何も口にしていない」というメールが届いた。すぐに支援者が駆け付け、緊急の生活費を渡して、公的な制度につなぐなどした。今年に入って何度「何日も食べていない」という声を聞きたらう。「戦時中」でなく、2020年の話に打ちのめされる。

4月の段階で、生活保護申請は前比25%増、東京23区では4割増、担当部署はオーバーワークであり、公的福祉が崩壊しつつあるような状況である。

何度政府交渉を重ねても「検討します」で、遅々として進まない。

「第2波」の中でよく耳にするのは「給付金が尽きる」という悲鳴である。給付金で一息ついた人たちもそのお金が尽きて困窮の一手手前に押しやられている。国にはこの人たちの悲鳴は届かない、聞こうともしない。

この7年で、非正規雇用率は、35%から38%に上昇、金融資産を保有しない単身世帯は33%から46%に上昇、働く女性の55%が非正規雇用です。

この人たちがコロナ禍の今、何の補償もなく放り出されている。今こそ「命を守る」政治が、必要な時はない。

「月刊社民10月号、世界を掴む 雨宮処凛」より

# 今後、町が計画している大型事業、何を優先に進めるか

## 母畑浄水場改修計画の概要

新設移転の方針で進めてきたが、財政上から改修に変更した

### (1) 改修の必要性

- ① 浄水場（昭和45年築造、築49年で）経年劣化  
高速凝集沈殿池、急速濾過池、ろ過池水層、電気施設、配管の一部更新
- ② 取水施  
千五沢ダムからの取水施設、放流施設の老朽化  
導水施設母畑発電所施設利用のため、漏水が見られる

### (2) 改修計画

- ① 第1期 工事（6年計画）高速凝集沈殿池、急速濾過池、ろ過池水層、電気施設等の改修
- ② 第2期 工事（取水施設の更新）  
浄水場改修工事後に取水場所を含めて検討工事を計画  
\*この浄水場の改修と合わせて、浄水場から各家庭まで送水する配管、老朽管及び石綿管の更新を早急に施行する必要があります。

## 鉱物館整備基本構想の概要

2年にわたる検討委員会から3月報告書が提出

### (1) 鉱物館整備の趣旨

貴重な町の宝である地質資源を後世にまで保存活用していくために、「石を生かした町づくり」を進めるために町総合計画で鉱物館の整備を掲げた。鉱物館整備は、鉱物・岩石資料の展示、地質資料の保存・収集・研究、保護に努める。楽しみながら学べる学習機会、地域に親しまれ、開かれた「地域博物館」を目指す。

### (2) 機能

- ① 資料の収集・保存・活用
- ② 調査研究
- ③ 展示
- ④ 教育普及活動
- ⑤ 情報・サービス活動
- ⑥ フィールド・ミュージアムの整備
- ⑦ 地質資源を巡るツアーの開催

### (3) 名称

石川町鉱物博物館（仮称）

## 保育施設再編整備計画

平成31年3月、保育施設再編整備計画を策定し、修学前の子どもの数や保育ニーズに応じた施設の確保、民間活力の導入、公立保育所の再編を行うことにしました。老朽化している第一保育所を認定こども園に移行し、平成34年4月開園を目指して進めてきました。

しかし、昨年の水害により第二保育所が被害を受けたため、再度整備計画の見直しを行っているところです。



秋、どこでも見られるミソソバ

## 資料紹介 (昭和51年)

### 『山橋の昔話』 山橋高齢者学級発刊

44年前の昭和51年、山橋地区公民館の高齢者学級の皆さんが、聞き取り調査などを行い、俗名として伝えられている地名や建物跡の由来、神社や仏閣の由来など語り継がれている内容をまとめ、学級の成果として発刊したものです。

南山形、山形、板橋、北山形ごと、それぞれ4冊にまとめられています。数ページのガリ版刷りの小冊子ですが、第1回調査のまとめとあることから、最初の調査資料と考えられます。

後に、活版印刷で「山橋の俗名と伝説」として1冊として発行されています。

北山形地区編は、37の地名などの解説がされています。

正式な字名ではないトコロクボ、殿内、糖塚、ババンタイラ（馬場平）、オンニョクボ（鬼のくぼ）、ビクンダイラ（比丘平）など、現在もつかわれてい

る地名が載っています。年配の人は聞いたことのある丹波屋敷跡は、字赤房と中ノ内の2ヶ所にあり、天正年間石川氏の家臣、丹波氏の屋敷跡であり、2人は兄弟であったという。近くには的場というところと、近くに馬の運動場に使われたという馬場平(字名気和田作)というところもあります。

さらに、旧北山形小学校裏手には、弘法塚があり、弘法太子が座ったところと言われ、文政乙酉、4月吉日、講中14人による「光明真言供養塔」が建っています。春は山桜の大木があり花見に最高です。

トノウチ（殿内）は庄屋の屋敷であったことから、敬称の意味で呼んだ「殿の内」が殿内になったことなど地元を知る上で面白い資料です。



セピア色になった冊子